

Sunday

2/17

年齢差越え、野球の魅力を伝える
還暦・古希チームと小学生の軟式野球交流戦



▲シニアの力強いヒット



▲シニアチームと6年生選抜チームのみなさん

市内の3校に通う6年生の選抜チームと還暦・古希の軟式野球チームの交流戦が北多久運動広場で行われました。

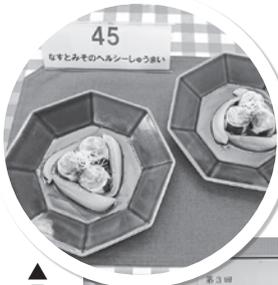
試合は学童チーム対シニアで、2試合行いました。祖父と孫ほど年齢差がありますが、シニアの打球の鋭さに子どもたちからは歓声上がる場面もあり熱戦が繰り広げられました。試合結果は、いずれも学童チームが勝利を収めました。シニア代表で還暦監督の西岡広文にしおかひろふみさんは「私たちが子どもたちと一緒に試合をすることで、6歳を過ぎてもスポーツができることを多くの人に知ってもらいたい。また、今年プロ入りした柿木蓮選手かきづれんに続いて、子どもたちには、プロを目指して頑張ってもらいたい」と笑顔で話されました。

まちのわだい

Saturday

2/23

若い感性で孔子みその可能性を広げる
第3回 孔子みそ料理学生選手権



▲最優秀賞「なすとみそのヘルシーしゅうまい」



▲出場した選手のみなさん

多久市の特産品「孔子みそ」の普及を目指す「孔子みそ料理学生選手権」(主催：孔子みそ料理学生選手権実行委員会)が東原庁舎西溪校の調理室で開催されました。

「佐賀県産食材を使ったヘルシー孔子みそ料理」をテーマにした今回の選手権に、1次審査には515通の応募が寄せられ、審査を通過した8人が2次審査で調理を行いました。最優秀賞には牛津高校の松本梨胡まつもとりこさんが考案した「なすとみそのヘルシーしゅうまい」が選ばれました。松本さんは「多久聖廟の歴史をヒントに中華風の料理にしようと思いき、しゅうまいに決めました。孔子みそは具とタレに使っています。皮になすを使うことでヘルシーに仕上げました」と見た目も鮮やかな料理を完成させました。

Friday

3/8

新たな門出を祝して
義務教育学校3校 卒業証書授与式



▲福田校長から卒業証書が授与されました

市内の義務教育学校3校で卒業証書授与式が行われ、9年生170人が卒業を迎えました。

東原庁舎中央校では、福田健成校長ふくだ たけなりから90人の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、卒業生は保護者や教師、在校生に見守られ母校をあとにしました。

卒業生代表の答辞で、津藤瑞希つどうみずきさんは「4月から自分の選んだ道を踏みしめ、進んでいきたい。お父さんお母さん今まで支え続けてくれてありがとう。これから大人の世界の扉を開き、いくつもの困難があると思うけど背中を押して応援してくれたら嬉しい」と感謝の言葉を述べました。



▲中央校の卒業生のみなさん